

申し入れ

有機フッ素化合物(PFAS)対策の要望書

鎌ヶ谷市長
芝田ひろみ様

2023年12月12日

民主と自治の会: 藤代政夫
渡邊俊彦
戸部光枝
市議会議員: 津久井清
河内いちろう
佐藤剛
松原美子
連絡先: 445-9144

PFASは環境中で分解されにくく蓄積しやすい性質から、「永遠の化学物質」とも呼ばれています。発がん性や胎児の低体重、成人の生殖機能への悪影響、肥満、甲状腺疾患などの健康リスクがあるとされています。

沖縄県や東京都の米軍基地周辺や大阪府の工場周辺の河川などから国の目標値を超える値が相次いで検出され、多く報道されています。

千葉県では公共用水域及び地下水を毎年測定しており、白井市・柏市・鎌ヶ谷市付近における河川では金山落の名内橋地点が定点測定箇所となっており、毎年暫定指針値 50ng/Lを大幅に上回っています。

又、2007年度千葉県環境研究センター年報(廃棄物・化学物質研究室)第5章「有機フッ素化合物の千葉県内公共用水域における汚染実態——PFOS及びPFOA——」(吉澤正・清水明・宇野健一)では、下手賀川上流部から名内橋に至る金山落6地点で測定しており、うち名内橋を含む3地点で高い値が計測されています。中間地点は自衛隊下総基地からの排水も流入しているところです。

名内橋以外は2007年以降調査されていないため、去る11月10日に、名内橋地点と自衛隊下総基地からの水が用水路に合流する地点の表流水を採取し、千葉県薬剤師会検査センターに測定を依頼したところ、このほど下記結果が報告されました。(別紙検査結果報告書参照)

採水場所	測定値
○下総基地下	PFOS:390ng/L+PFOA:19ng/L=410ng/L
○名内橋	PFOS:92ng/L+PFOA:10ng/L=100ng/L

1ng=0.000001mg

いずれも暫定指針値を大幅に超える結果となっています。金山落の各地点での更なる調査が必要です。さらに土壌や地下水に汚染が及んでいないかの調査も行い、今後の対策を講じる必要があります。

つきましては、下記要望します。

記

千葉県や金山落の流域である白井市・柏市と連携し、さらなる実態調査及び地下水等の調査、および必要な対応策を講じていただきますようお願いいたします。

以上



